

### 第3章 公害の現況と対策 II 水質

#### (1) 環境基準

##### ア 人の健康の保護に関する環境基準

項目	基準値
カドミウム	0.01mg/L以下
全シアン	検出されないこと
鉛	0.01mg/L以下
六価クロム	0.05mg/L以下
砒素	0.01mg/L以下
総水銀	0.0005mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと
PCB	検出されないこと
ジクロロメタン	0.02mg/L以下
四塩化炭素	0.002mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	0.02mg/L以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下

項目	基準値
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下
1,1,2-トリクロロエタン	0.006 mg/L以下
トリクロロエチレン	0.03mg/L以下
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下
1,3-ジクロロプロペン	0.002 mg/L以下
チウラム	0.006 mg/L以下
シマジン	0.003 mg/L以下
チオベンカルブ	0.02mg/L以下
ベンゼン	0.01mg/L以下
セレン	0.01mg/L以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	10mg/L以下
ふっ素	0.8mg/L以下
ほう素	1mg/L以下

##### 備考

- (i) 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。
- (ii) 海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。

##### イ 生活環境の保全に関する環境基準<河川> (湖沼を除く)

###### (ア)

類型	利用目的の適応性	基準値				
		pH	BOD	SS	DO	大腸菌群数
AA	水道1級 自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5~8.5	1mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	50MPN/100ml以下
A	水道2級 水産1級水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5~8.5	2mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	1,000MPN/100ml以下
B	水道3級 水産2級及びC以下の欄に掲げるもの	6.5~8.5	3mg/L以下	25mg/L以下	5mg/L以上	5,000MPN/100ml以下
C	水産3級 工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの	6.5~8.5	5mg/L以下	50mg/L以下	5mg/L以上	—
D	工業用水2級 農業用水及びEの欄に掲げるもの	6.0~8.5	8mg/L以下	100mg/L以下	2mg/L以上	—
E	工業用水3級 環境保全	6.0~8.5	10mg/L以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2mg/L以上	—

備考

(i) pH (水素イオン濃度) …溶液の酸性、アルカリ性を示す尺度。7が中性で、0に近づくほど酸性が強く、14に近づくほどアルカリ性が強い。

BOD (生物化学的酸素要求量) …水の汚れを示す指標。高いほど汚れが大きい。

SS (浮遊物質) …水中で浮遊している固形物質。高いほど汚れが大きい。

DO (溶存酸素量) …水中に溶け込んでいる酸素の量。一般に汚れが大きいと値が小さくなる。

(ii) 基準値は、日間平均値とする (湖沼、海域もこれに準ずる)。

(iii) 農業用利水点については、水素イオン濃度 6.0以上、7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする (湖沼もこれに準ずる)。

用語の説明

(i) 自然環境保全…自然探勝等の環境保全

(ii) 水道1級…ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの

水道2級…沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの

水道3級…前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの

(iii) 水産1級…ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用

水産2級…サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物及び水産3級の水産生物用

水産3級…コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用

(iv) 工業用水1級…沈殿等による通常の浄水操作を行うもの

工業用水2級…薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの

工業用水3級…特殊の浄水操作を行うもの

(v) 環境保全…国民の日常生活 (沿岸の遊歩等を含む。) において不快感を生じない限度

(イ)

類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値
		全亜鉛
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場 (繁殖場) 又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L以下
生物B	コイ、フナ等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下
生物特B	生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場 (繁殖場) 又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L以下

平成15年11月5日付け環境省告示第123号により追加

備考

(i) 基準値は、日間平均値とする (湖沼、海域もこれに準ずる)。

(ウ)

環境基準	
滑川・神戸川 (B類型)	3mg/L以下 (BOD75%水質値)
境川水域 (D類型)	8mg/L以下 (BOD75%水質値)

平成13年10月23日付け神奈川県告示第664号により滑川はB類型 (直ちに達成)、神戸川はB類型 (5年以内で可及的速やかに達成) となった。

ウ 生活環境の保全に関する環境基準<海域>

(ア)

類型	利用目的の適応性	基準値				
		pH	COD	DO	大腸菌群数	n-ヘキサン抽出物質(油分等)
A	水産1級 水浴 自然環境保全及びB以下の欄に掲げるもの	7.8~8.3	2mg/L以下	7.5mg/L以上	1,000MPN/100ml以下	検出されないこと
B	水産2級 工業用水及びCの欄に掲げるもの	7.8~8.3	3mg/L以下	5mg/L以上	—	検出されないこと
C	環境保全	7.0~8.3	8mg/L以下	2mg/L以上	—	—

用語の説明

(i) 自然環境保全…自然探勝等の環境保全

(ii) 水産1級…マダイ、ブリ、ワカメ等の水産生物用及び水産2級の水産生物用

水産2級…ボラ、ノリ等の水産生物用

(iii) 環境保全…国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

(イ)

類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値
		全亜鉛
生物A	水生生物の生息する水域	0.02mg/L以下
生物特A	生物Aの水域のうち、水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.01mg/L以下

平成15年11月5日付け環境省告示第123号により追加

(ウ)

環境基準	
由比ヶ浜沖・七里ヶ浜沖（全層）（A類型）	2mg/L以下（COD75%水質値）

(2) 河川水質調査

河川の水質の状況を把握するため、市内の主要な河川について、平成18年度に4回の水質調査を実施しました。なお、13年度から水質の改善がみられた河川は対象外としています。また、県管理で県による水質測定を実施している滑川、神戸川についても16年度から対象外としました。

また、毎月1回河川パトロールを実施し、河川水質の監視を行っています。

ア 各物質経年変化

(i) BOD (生物化学的酸素要求量) 75%水質値経年変化 (単位: mg/L)

河川名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	環境基準
豆腐川	—	—	—	—	—	—
滑川	1.6	3.3	1.4	2.7	1.5	3以下
稲瀬川	—	—	—	—	—	—
極楽寺川	—	—	—	—	—	—
音無川	—	—	—	—	—	—
行合川	—	—	—	—	—	—
神戸川	2.1	2.9	2.2	3.5	1.6	3以下
大塚川	11	7.9	8.4	6.9	5.3	8以下
新川	4	1.5	2.8	1.3	1.1	8以下
梶原川	1.9	2	1.2	1	0.9	8以下
町屋川	2.5	2	1.2	1.4	1.4	8以下
山崎川	3.4	5.5	2.8	1.3	4.3	8以下
小袋谷川	6.5	5.6	5.6	2.8	5.2	8以下
砂押川	10	6.3	6.6	2.7	5.5	8以下
玉縄雨水幹線	19	20	8.9	4.9	4.5	8以下

(ii) SS (浮遊物質) 年平均値経年変化 (単位: mg/L)

河川名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	環境基準
豆腐川	—	—	—	—	—	—
滑川	8	8	9	6	5	25以下
稲瀬川	—	—	—	—	—	—
極楽寺川	—	—	—	—	—	—
音無川	—	—	—	—	—	—
行合川	—	—	—	—	—	—
神戸川	2	3	5	11	3	25以下
大塚川	8	9	5	5	3	100以下
新川	5	4	7	5	3	100以下
梶原川	2	2	3	2	2	100以下
町屋川	2	2	2	2	1	100以下
山崎川	4	5	3	3	3	100以下
小袋谷川	9	4	12	4	4	100以下
砂押川	14	6	9	4	6	100以下
玉縄雨水幹線	11	5	6	3	3	100以下

## (iii) DO (溶存酸素量) 年平均値経年変化 (単位 : mg/L)

河川名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	環境基準
豆腐川	—	—	—	—	—	—
滑川	5.8	7.6	7.9	8.1	8.3	5以上
稻瀬川	—	—	—	—	—	—
極楽寺川	—	—	—	—	—	—
音無川	—	—	—	—	—	—
行合川	—	—	—	—	—	—
神戸川	6.1	8.6	8.8	8.3	8.7	5以上
大塚川	3.4	3.2	5.4	6.4	5.8	2以上
新川	6.7	5.5	9.4	12	10.9	2以上
梶原川	4.7	4.1	7.8	12	10.7	2以上
町屋川	6.5	5.1	7.6	8.7	9.3	2以上
山崎川	5.9	5.4	7.3	8.2	8.3	2以上
小袋谷川	4.9	5.9	6.9	8.3	7.6	2以上
砂押川	4.6	7.2	8.6	10	9.7	2以上
玉縄雨水幹線	3.4	4.1	5.6	6.4	7.4	2以上

## (iv) 全窒素年平均値経年変化 (単位 : mg/L)

河川名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	環境基準
豆腐川	—	—	—	—	—	—
滑川	3.3	3.7	1.5	1.8	3.3	—
稻瀬川	—	—	—	—	—	—
極楽寺川	—	—	—	—	—	—
音無川	—	—	—	—	—	—
行合川	—	—	—	—	—	—
神戸川	3.5	4.3	2.0	2.2	4.3	—
大塚川	9.1	8.4	7.8	3.4	3.4	—
新川	4.6	3.5	3	1.9	1.8	—
梶原川	2.2	2.5	2.7	1.2	1.2	—
町屋川	3.2	3.9	4.2	2	2.9	—
山崎川	15	15	13	6.1	11	—
小袋谷川	4.7	5	4.7	2.7	2.3	—
砂押川	6.6	5	4.2	2.1	2.3	—
玉縄雨水幹線	15	11	9	4.1	4.5	—

(v) 陰イオン界面活性剤年平均値経年変化 (単位: mg/L)

河川名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	環境基準
豆腐川	—	—	—	—	—	—
滑川	0.08	0.07	<0.03	<0.03	<0.03	—
稲瀬川	—	—	—	—	—	—
極楽寺川	—	—	—	—	—	—
音無川	—	—	—	—	—	—
行合川	—	—	—	—	—	—
神戸川	0.24	0.18	0.07	<0.03	<0.03	—
大塚川	1	0.57	0.53	0.05	0.17	—
新川	0.12	0.06	0.06	<0.03	<0.03	—
梶原川	0.12	0.07	0.1	<0.03	<0.03	—
町屋川	0.44	0.13	0.14	<0.03	<0.03	—
山崎川	0.19	0.15	0.18	<0.03	0.03	—
小袋谷川	1.2	0.37	0.49	0.04	0.18	—
砂押川	0.46	0.22	0.28	<0.03	0.1	—
玉縄雨水幹線	3.2	3.1	0.83	0.1	0.1	—

(vi) 全燐年平均値経年変化 (単位: mg/L)

河川名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	環境基準
豆腐川	—	—	—	—	—	—
滑川	0.28	0.28	0.24	0.25	0.33	—
稲瀬川	—	—	—	—	—	—
極楽寺川	—	—	—	—	—	—
音無川	—	—	—	—	—	—
行合川	—	—	—	—	—	—
神戸川	0.2	0.18	0.19	0.19	0.25	—
大塚川	0.7	0.46	0.39	0.38	0.3	—
新川	0.45	0.21	0.21	0.18	0.17	—
梶原川	0.23	0.18	0.18	0.16	0.14	—
町屋川	0.17	0.13	0.16	0.15	0.14	—
山崎川	1.5	1.4	1.5	1.5	1.5	—
小袋谷川	0.39	0.3	0.34	0.31	0.29	—
砂押川	0.42	0.26	0.25	0.21	0.22	—
玉縄雨水幹線	1.1	0.73	0.69	0.63	0.5	—

平成18年度河川水質調査結果表

大塚川

(調査地点：村山橋)

環境基準：境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否
採水月日	H18.5.10	H18.8.2	H18.11.1	H19.2.7		
採水時間	11:05	11:07	11:10	10:45		
気温 (°C)	18.5	27.2	22.5	12.1		
水温 (°C)	17.4	22.9	17.7	10.2		
外観	無色	無色	無色	無色		
透視度 (cm)	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>		
臭気	無臭	無臭	無臭	無臭		
硝酸性窒素 (mg/l)	1.9	1.8	1.7	1.8	1.8	適
亜硝酸性窒素 (mg/l)	0.13	0.11	0.08	0.09	0.10	適
水素イオン濃度 (pH)	7.6	7.5	7.3	7.7	7.5	適
生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/l)	5.3	4.1	1.3	5.7	4.1(5.3)	適
化学的酸素要求量 (COD) (mg/l)	6.9	4.6	3.9	6.5	5.5	
浮遊物質 (SS) (mg/l)	4	2	2	4	3	適
溶存酸素量 (DO) (mg/l)	5.4	4.8	6.1	6.8	5.8	適
大腸菌群数 (MPN/100ml)	4.9×10 <sup>5</sup>	1.1×10 <sup>6</sup>	4.9×10 <sup>4</sup>	1.7×10 <sup>4</sup>	4.1×10 <sup>5</sup>	
全窒素 (mg/l)	3.7	2.9	2.9	3.9	3.4	
全燐 (mg/l)	0.33	0.29	0.27	0.31	0.30	
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	<1	<1	<1	<1	<1	
アンモニア性窒素 (mg/l)	0.42	0.47	0.41	0.86	0.54	
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	0.17	0.17	0.04	0.30	0.17	
燐酸態燐 (mg/l)	0.27	0.24	0.23	0.25	0.25	
塩化物イオン (mg/l)	19	23	16	23	20	
電気伝導率 (mS/cm)	0.40	0.48	0.48	0.48	0.46	

注( )数字は75%水質値を表示

平均値を算出する場合、定量下限値以下はその値の1/2の値として算出した。

平成18年度河川水質調査結果表

新川

(調査地点：梶原橋)

環境基準：境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否	
採水月日	H18.5.10	H18.8.2	H18.11.1	H19.2.7			
採水時間	11:00	10:56	10:58	10:30			
気温 (°C)	18.2	28.7	22.8	11.5			観測項目
水温 (°C)	17.6	24.2	22.0	8.9			
外観	無色	無色	無色	無色			
透視度 (cm)	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>			
臭気	無臭	無臭	無臭	無臭			
硝酸性窒素 (mg/l)	1.4	1.1	1.0	1.4	1.2	適	
亜硝酸性窒素 (mg/l)	0.06	0.05	0.03	0.05	0.05	適	
水素イオン濃度 (pH)	7.8	8.4	7.8	8.0	8.0	適	生活環境項目
生物学的酸素要求量 (BOD) (mg/l)	1.1	0.8	0.8	2.3	1.3(1.1)	適	
化学的酸素要求量 (COD) (mg/l)	4.8	3.1	3.1	3.8	3.7		
浮遊物質 (SS) (mg/l)	2	3	2	3	3	適	
溶存酸素量 (DO) (mg/l)	10.3	10.8	10.0	12.5	10.9	適	
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1.7×10 <sup>4</sup>	2.2×10 <sup>4</sup>	4.9×10 <sup>4</sup>	1.3×10 <sup>4</sup>	2.5×10 <sup>4</sup>		
全窒素 (mg/l)	2.3	1.5	1.5	1.8	1.8		
全リン (mg/l)	0.16	0.18	0.17	0.15	0.17		
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	<1	<1	<1	<1	<1		
アンモニア性窒素 (mg/l)	0.08	0.09	0.08	0.08	0.08		その他の項目
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03		
磷酸態リン (mg/l)	0.13	0.15	0.14	0.14	0.14		
塩化物イオン (mg/l)	13	17	12	20	16		
電気伝導率 (mS/cm)	0.32	0.37	0.42	0.40	0.38		

注( )数字は75%水質値を表示

平均値を算出する場合、定量下限値以下はその値の1/2の値として算出した。

平成18年度河川水質調査結果表

梶原川

(調査地点：中外製薬脇)

環境基準：境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否
採水月日	H18.5.10	H18.8.2	H18.11.1	H19.2.7		
採水時間	10:40	10:46	10:50	10:25		
気温 (°C)	18.6	26.3	21.0	11.0		
水温 (°C)	17.7	23.6	17.7	10.1		
外観	無色	無色	無色	無色		
透視度 (cm)	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>		
臭気	無臭	無臭	無臭	無臭		
硝酸性窒素 (mg/l)	1.0	0.39	0.76	0.84	0.75	適
亜硝酸性窒素 (mg/l)	0.04	<0.02	0.02	0.03	0.03	適
水素イオン濃度 (pH)	7.7	7.8	7.6	7.9	7.8	適
生物学的酸素要求量 (BOD) (mg/l)	0.9	0.7	0.8	2.1	1.1(0.9)	適
化学的酸素要求量 (COD) (mg/l)	4.9	2.9	1.7	3.7	3.3	
浮遊物質 (SS) (mg/l)	1	1	1	3	2	適
溶存酸素量 (DO) (mg/l)	10.3	10.8	9.5	12.2	10.7	適
大腸菌群数 (MPN/100ml)	4.9×10 <sup>3</sup>	4.9×10 <sup>4</sup>	1.1×10 <sup>5</sup>	1.7×10 <sup>3</sup>	4.1×10 <sup>4</sup>	
全窒素 (mg/l)	2.0	0.6	1.1	1.1	1.2	
全リン (mg/l)	0.12	0.11	0.19	0.12	0.14	
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	<1	<1	<1	<1	<1	
アンモニア性窒素 (mg/l)	0.06	0.08	0.07	0.08	0.07	
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	
磷酸態リン (mg/l)	0.10	0.09	0.16	0.11	0.12	
塩化物イオン (mg/l)	15	21	14	20	18	
電気伝導率 (mS/cm)	0.33	0.45	0.48	0.46	0.43	

観測項目

健康項目

生活環境項目

その他の項目

注( )数字は75%水質値を表示

平均値を算出する場合、定量下限値以下はその値の1/2の値として算出した。

平成18年度河川水質調査結果表

町屋川

(調査地点：ダイヤハイツ裏)

環境基準：境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否
採水月日	H18.5.10	H18.8.2	H18.11.1	H19.2.7		
採水時間	10:30	10:29	10:30	10:15		
気温 (°C)	20.5	25.7	23.2	9.0		
水温 (°C)	18.5	24.5	18.6	10.8		
外観	無色	無色	無色	無色		
透視度 (cm)	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>		
臭気	無臭	無臭	無臭	無臭		
硝酸性窒素 (mg/l)	1.3	4.4	1.4	1.4	2.1	適
亜硝酸性窒素 (mg/l)	0.06	0.05	0.03	0.04	0.05	適
水素イオン濃度 (pH)	7.6	7.3	7.6	7.9	7.6	適
生物学的酸素要求量 (BOD) (mg/l)	1.8	1.4	1.0	0.6	1.2(1.4)	適
化学的酸素要求量 (COD) (mg/l)	4.8	3.6	3.1	2.2	3.4	
浮遊物質 (SS) (mg/l)	2	2	<1	<1	1	適
溶存酸素量 (DO) (mg/l)	8.1	8.6	9.6	10.7	9.3	適
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1.7×10 <sup>4</sup>	4.9×10 <sup>4</sup>	3.3×10 <sup>3</sup>	7.9×10 <sup>3</sup>	1.9×10 <sup>4</sup>	
全窒素 (mg/l)	2.4	5.4	1.8	1.9	2.9	
全リン (mg/l)	0.11	0.22	0.14	0.10	0.14	
n-ヘキササン抽出物質 (mg/l)	<1	<1	<1	<1	<1	
アンモニア性窒素 (mg/l)	0.21	0.21	0.14	0.17	0.18	
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	
磷酸態リン (mg/l)	0.08	0.12	0.11	0.10	0.10	
塩化物イオン (mg/l)	26	21	22	40	27	
電気伝導率 (mS/cm)	0.35	0.55	0.46	0.43	0.45	

観測項目

健康項目

生活環境項目

その他の項目

注( )数字は75%水質値を表示

平均値を算出する場合、定量下限値以下はその値の1/2の値として算出した。

平成18年度河川水質調査結果表

山崎川

(調査地点：菱電湘南エレクトロニクス(株)裏)

環境基準：境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否
採水月日	H18.5.10	H18.8.2	H18.11.1	H19.2.7		
採水時間	10:15	10:17	10:05	9:58		
気温(°C)	18.6	26.9	25.6	11.9		
水温(°C)	21.2	26.1	24.3	19.0		
外観	無色	無色	無色	無色		
透視度(cm)	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>		
臭気	無臭	無臭	無臭	無臭		
硝酸性窒素(mg/l)	6.9	5.8	6.1	9.2	7.0	適
亜硝酸性窒素(mg/l)	0.02	<0.02	0.28	0.40	0.18	適
水素イオン濃度(pH)	7.1	7.1	7.0	7.1	7.1	適
生物学的酸素要求量(BOD)(mg/l)	1.3	1.6	4.3	6.2	3.4(4.3)	適
化学的酸素要求量(COD)(mg/l)	9.0	6.7	7.4	10	8.3	
浮遊物質(S S)(mg/l)	3	2	1	4	3	適
溶存酸素量(DO)(mg/l)	8.2	7.8	8.1	8.2	8.1	適
大腸菌群数(MPN/100ml)	13	33	13	14	18	
全窒素(mg/l)	9.3	11	10	12	11	
全燐(mg/l)	2.0	1.6	1.4	1.1	1.5	
n-ヘキササン抽出物質(mg/l)	<1	<1	<1	<1	<1	
アンモニア性窒素(mg/l)	0.07	0.20	2.1	2.0	1.1	
陰イオン界面活性剤(mg/l)	<0.03	0.03	<0.03	0.06	0.03	
燐酸態燐(mg/l)	1.9	1.5	1.3	1.0	1.4	
塩化物イオン(mg/l)	37	4.2	29	47	29	
電気伝導率(mS/cm)	0.38	0.41	0.43	0.44	0.42	

注( )数字は75%水質値を表示

平均値を算出する場合、定量下限値以下はその値の1/2の値として算出した。

平成18年度河川水質調査結果表

小袋谷川

(調査地点：大船橋)

環境基準：境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否
採水月日	H18.5.10	H18.8.2	H18.11.1	H19.2.7		
採水時間	9:42	9:57	9:38	9:27		
気温 (°C)	17.7	27.5	22.9	11.4		
水温 (°C)	17.1	22.7	18.7	9.6		
外観	無色	無色	無色	無色		
透視度 (cm)	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>		
臭気	無臭	無臭	無臭	無臭		
硝酸性窒素 (mg/l)	1.4	1.1	1.2	1.4	1.3	適
亜硝酸性窒素 (mg/l)	0.08	0.05	0.05	0.06	0.06	適
水素イオン濃度 (pH)	7.6	7.5	7.5	7.6	7.6	適
生物学的酸素要求量 (BOD) (mg/l)	3.0	5.2	2.0	5.3	3.9(5.2)	適
化学的酸素要求量 (COD) (mg/l)	5.9	4.7	3.4	5.9	5.0	
浮遊物質 (SS) (mg/l)	3	10	2	2	4	適
溶存酸素量 (DO) (mg/l)	7.5	7.1	7.4	8.2	7.6	適
大腸菌群数 (MPN/100ml)	4.6×10 <sup>4</sup>	7.9×10 <sup>5</sup>	1.7×10 <sup>5</sup>	2.3×10 <sup>4</sup>	2.6×10 <sup>5</sup>	
全窒素 (mg/l)	2.4	2.0	2.2	2.5	2.3	
全リン (mg/l)	0.27	0.31	0.27	0.32	0.29	
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	<1	<1	<1	<1	<1	
アンモニア性窒素 (mg/l)	0.38	0.45	0.31	0.31	0.36	
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	0.12	0.34	<0.03	0.24	0.18	
磷酸態リン (mg/l)	0.22	0.24	0.24	0.25	0.24	
塩化物イオン (mg/l)	10	13	8.5	18	12	
電気伝導率 (mS/cm)	0.26	0.31	0.33	0.33	0.31	

観測項目

健康項目

生活環境項目

その他の項目

注( )数字は75%水質値を表示

平均値を算出する場合、定量下限値以下はその値の1/2の値として算出した。

# 平成18年度河川水質調査結果表

砂押川

(調査地点：日通(株)大船営業所脇)

環境基準：境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否	
採水月日	H18.5.10	H18.8.2	H18.11.1	H19.2.7			
採水時間	9:30	9:40	9:30	9:20			
気温 (°C)	19.1	25.0	20.8	10.8			観測項目
水温 (°C)	17.6	22.2	16.3	8.9			
外観	無色	無色	無色	無色			
透視度 (cm)	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>	30 <sup>+</sup>			
臭気	無臭	無臭	無臭	無臭			
硝酸性窒素 (mg/l)	1.2	0.86	1.0	1.0	1.0	適	
亜硝酸性窒素 (mg/l)	0.09	0.04	0.04	0.05	0.06	適	
水素イオン濃度 (pH)	7.8	8.1	7.9	8.0	8.0	適	生活環境項目
生物学的酸素要求量 (BOD) (mg/l)	4.7	5.2	5.5	8.5	6.0(5.5)	適	
化学的酸素要求量 (COD) (mg/l)	6.3	5.0	5.2	7.2	5.9		
浮遊物質 (SS) (mg/l)	5	9	5	6	6	適	
溶存酸素量 (DO) (mg/l)	7.6	10.1	9.0	12.0	9.7	適	
大腸菌群数 (MPN/100ml)	7.9×10 <sup>5</sup>	7.0×10 <sup>5</sup>	1.3×10 <sup>6</sup>	1.1×10 <sup>5</sup>	7.3×10 <sup>5</sup>		
全窒素 (mg/l)	3.0	1.8	2.1	2.3	2.3		
全リン (mg/l)	0.22	0.19	0.21	0.24	0.22		
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	<1	<1	<1	<1	<1		
アンモニア性窒素 (mg/l)	0.36	0.44	0.34	0.51	0.41		その他の項目
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	0.05	0.08	0.08	0.18	0.10		
磷酸態リン (mg/l)	0.15	0.13	0.14	0.11	0.13		
塩化物イオン (mg/l)	10	13	9.6	17	12		
電気伝導率 (mS/cm)	0.47	0.48	0.55	0.62	0.53		

注( )数字は75%水質値を表示

平均値を算出する場合、定量下限値以下はその値の1/2の値として算出した。

平成18年度河川水質調査結果表

玉縄雨水幹線

(調査地点：フラワーセンター脇)

環境基準：境川流域D類型

項 目	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	平均値	適否	
採 水 月 日	H18. 5. 10	H18. 8. 2	H18. 11. 1	H19. 2. 7			
採 水 時 間	9:55	10:00	9:43	9:30			
気 温 (°C)	17. 8	24. 8	23. 3	10. 5			観測項目
水 温 (°C)	17. 2	22. 7	19. 6	12. 4			
外 観	無色	無色	無色	無色			
透 視 度 (cm)	30 +	30 +	30 +	30 +			
臭 気	無臭	無臭	無臭	無臭			
硝 酸 性 窒 素 (mg/l)	1. 8	4. 0	1. 4	2. 0	2. 3	適	
亜 硝 酸 性 窒 素 (mg/l)	0. 14	0. 09	0. 06	0. 27	0. 14	適	
水 素 イ オ ン 濃 度 (pH)	7. 6	7. 7	7. 7	7. 7	7. 7	適	
生物化学的酸素要求量(BOD) (mg/l)	5. 2	4. 5	3. 0	3. 3	4. 0(4. 5)	適	生活環境項目
化学的酸素要求量 (COD) (mg/l)	7. 8	6. 4	4. 9	5. 4	6. 1		
浮遊物質 (SS) (mg/l)	4	5	1	2	3	適	
溶存酸素量 (DO) (mg/l)	6. 2	6. 9	8. 9	7. 4	7. 4	適	
大 腸 菌 群 数 (MPN/100ml)	4. 9×10 <sup>4</sup>	33	1. 1×10 <sup>6</sup>	1. 3×10 <sup>4</sup>	2. 9×10 <sup>5</sup>		
全 窒 素 (mg/l)	6. 6	5. 5	2. 4	3. 4	4. 5		
全 磷 (mg/l)	0. 38	0. 81	0. 37	0. 45	0. 50		
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	<1	<1	<1	<1	<1		その他の項目
アンモニア性窒素 (mg/l)	0. 31	0. 89	0. 25	0. 36	0. 45		
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	0. 14	0. 12	0. 08	0. 06	0. 10		
磷酸態磷 (mg/l)	0. 31	0. 76	0. 33	0. 41	0. 45		
塩化物イオン (mg/l)	11	16	8. 1	14	12		
電気伝導率 (mS/cm)	0. 33	0. 41	0. 38	0. 36	0. 37		

注( )数字は75%水質値を表示

平均値を算出する場合、定量下限値以下はその値の1/2の値として算出した。



## (3) 神奈川県による水質測定結果 (年間平均値)

## ア 河川 (滑川・神戸川)

項 目	河 川 名		項 目	河 川 名	
	滑川 (滑川橋)	神戸川 (神戸橋)		滑川 (滑川橋)	神戸川 (神戸橋)
気温(°C)	17.1	17.7	1,1,2-トリクロロエタン(mg/L)	<0.0006	<0.0006
水温(°C)	16.5	16.7	トリクロロエチレン(mg/L)	<0.002	<0.002
透視度(cm)	90.9	97.5	テトラクロロエチレン(mg/L)	<0.0005	<0.0005
流量(m <sup>3</sup> /s)	0.4	0.19	1,3-ジクロロプロペン(mg/L)	<0.0002	<0.0002
pH	7.9	7.9	チウラム(mg/L)	<0.0006	<0.0006
BOD(mg/L)	1.4	1.6	シマジン(mg/L)	<0.0003	<0.0003
BOD(75%値)(mg/L)	1.5	1.6	チオベンカルブ(mg/L)	<0.002	<0.002
COD(mg/L)	3.9	3.8	ベンゼン(mg/L)	<0.001	<0.001
COD(75%値)(mg/L)	4.1	4	セレン(mg/L)	<0.002	<0.002
SS(mg/L)	5	3	フェノール類(mg/L)	<0.005	<0.005
DO(mg/L)	8.3	8.7	銅(mg/L)	<0.01	<0.01
大腸菌群数(MPN/100mL)	4.1×10 <sup>4</sup>	2.5×10 <sup>4</sup>	全亜鉛(mg/L)	0.008	0.008
n-ヘキサン抽出物質(mg/L)	<0.5	<0.5	溶解性鉄(mg/L)	0.03	0.06
カドミウム(mg/L)	<0.001	<0.001	溶解性マンガン(mg/L)	0.03	0.05
全シアン(mg/L)	ND	ND	EPN(mg/L)	<0.0006	<0.0006
鉛(mg/L)	<0.005	<0.005	総クロム(mg/L)	<0.02	<0.02
六価クロム(mg/L)	<0.02	<0.02	ふっ素(mg/L)	—	0.15
砒素(mg/L)	<0.005	<0.005	ほう素(mg/L)	—	0.06
総水銀(mg/L)	<0.0005	<0.0005	ニッケル(mg/L)	<0.008	<0.008
アルキル水銀(mg/L)	—	—	全燐(mg/L)	0.33	0.25
PCB(mg/L)	ND	ND	磷酸態燐(mg/L)	0.25	0.13
ジクロロメタン(mg/L)	<0.002	<0.002	全窒素(mg/L)	3.3	4.3
四塩化炭素(mg/L)	<0.0002	<0.0002	アンモニア性窒素(mg/L)	0.28	0.27
1,2-ジクロロエタン(mg/L)	<0.0004	<0.0004	亜硝酸性窒素及び 硝酸性窒素(mg/L)	1.3	1.5
1,1-ジクロロエチレン(mg/L)	<0.002	<0.002	塩化物イオン(mg/L)	1600	210
ビス-1,2-ジクロロエチレン(mg/L)	<0.004	<0.004	陰イオン界面活性剤(mg/L)	<0.03	<0.03
1,1,1-トリクロロエタン(mg/L)	<0.0005	<0.0005			

イ 海域（由比ヶ浜沖・七里ヶ浜沖）

(i) 全層

項目	海 域 名		項目	海 域 名	
	由比ヶ浜沖 (全層)	七里ヶ浜沖 (全層)		由比ヶ浜沖 (全層)	七里ヶ浜沖 (全層)
気温(°C)	19.3	19.4	トリクロエチレン(mg/L)	<0.002	<0.002
水温(°C)	19.1	19.3	テトラクロエチレン(mg/L)	<0.0005	<0.0005
透明度(m)	8.1	7.1	1,3-ジクロロプロパン(mg/L)	<0.0002	<0.0002
pH	8.3	8.3	チウラム(mg/L)	<0.0006	<0.0006
COD(mg/L)	1.3	1.3	シマジン(mg/L)	<0.0003	<0.0003
COD(75%値)(mg/L)	1.4	1.5	チオベンカルブ(mg/L)	<0.002	<0.002
DO(mg/L)	7.9	7.9	ベンゼン(mg/L)	<0.001	<0.001
大腸菌群数(MPN/100mL)	5.7×10	1.9×10 <sup>2</sup>	セレン(mg/L)	<0.002	<0.002
n-ヘキサン抽出物質(mg/L)	ND	ND	フェノール類(mg/L)	<0.005	—
カドミウム(mg/L)	<0.001	<0.001	銅(mg/L)	<0.01	—
全シアン(mg/L)	ND	ND	全亜鉛(mg/L)	0.002	0.001
鉛(mg/L)	<0.005	<0.005	溶解性鉄(mg/L)	<0.02	—
六価クロム(mg/L)	<0.02	<0.02	溶解性マンガン(mg/L)	<0.01	—
砒素(mg/L)	<0.005	<0.005	EPN(mg/L)	<0.0006	—
総水銀(mg/L)	<0.0005	<0.0005	ニッケル(mg/L)	<0.008	—
アルキル水銀(mg/L)	—	—	全燐(mg/L)	0.023	0.022
PCB(mg/L)	ND	—	磷酸態燐(mg/L)	0.008	0.008
ジクロロメタン(mg/L)	<0.002	<0.002	全窒素(mg/L)	0.24	0.24
四塩化炭素(mg/L)	<0.0002	<0.0002	アンモニア性窒素(mg/L)	0.04	0.04
1,2-ジクロロエタン(mg/L)	<0.0004	<0.0004	亜硝酸性窒素及び 硝酸性窒素(mg/L)	0.12	0.12
1,1-ジクロロエチレン(mg/L)	<0.002	<0.002	塩分濃度(%)	33.8	33.72
トリス-1,2-ジクロロエチレン(mg/L)	<0.004	<0.004	陰イオン界面活性剤(mg/L)	<0.03	<0.03
1,1,1-トリクロロエタン(mg/L)	<0.0005	<0.0005	クロフィルa(μg/L)	3.0	2.8
1,1,2-トリクロロエタン(mg/L)	<0.0006	<0.0006			

## (ii) 上層

項 目	海 域 名	
	由比ヶ浜沖 (上層)	七里ヶ浜沖 (上層)
水温(°C)	19.6	19.9
pH	8.3	8.4
COD(mg/L)	1.4	1.4
DO(mg/L)	8.3	8.2
大腸菌群数(MPN/100mL)	$5.7 \times 10$	$1.9 \times 10^2$
n-ヘキサン抽出物質(mg/L)	ND	ND
全窒素(mg/L)	0.23	0.23
全磷(mg/L)	0.02	0.021
亜硝酸性窒素(mg/L)	<0.05	<0.05
硝酸性窒素(mg/L)	0.07	0.07
アンモニア性窒素(mg/L)	0.04	0.04
磷酸態磷(mg/L)	0.007	0.006
塩分濃度(‰)	33.6	33.53
陰イオン界面活性剤(mg/L)	<0.03	<0.03
クロロフィルa(μg/L)	3	2.8

## (iii) 下層

項 目	海 域 名	
	由比ヶ浜沖 (下層)	七里ヶ浜沖 (下層)
水温(°C)	18.6	18.8
pH	8.3	8.3
COD(mg/L)	1.1	1.2
DO(mg/L)	7.4	7.5
全窒素(mg/L)	0.24	0.24
全磷(mg/L)	0.024	0.023
亜硝酸性窒素(mg/L)	<0.05	<0.05
硝酸性窒素(mg/L)	0.07	0.07
アンモニア性窒素(mg/L)	0.04	0.04
磷酸態磷(mg/L)	0.010	0.009
塩分濃度(‰)	33.99	33.91